

# デーリー東北

2020年(令和2年)10月29日(木曜日) (14)

## 村次世代エネパーク 見学者向け記念品

# 八工大生デザイン考案へ

## 村観光協依頼 村内企業と共同制作

### 六ヶ所

六ヶ所村観光協会(及川次夫会長)は本年度、村次世代エネルギー学科に依頼した。24日は同科の学生8人が同パーク内の関連施設を訪問し、これから考案するデザインのヒントを探った。(藤村大地)



同パークは、村内に立地し、発電所、六ヶ所核融合研究所で構成し、村が見学コースに設定している。見学事業は同協会が担っており、見学者を増やす目的で、配布用の記念品制作を決めたという。

学生は授業の一環として、原価500円で同パーク見学の思い出になることなどを条件にデザインを行う。制作には、機械設備メンテナンス業の六ヶ所エンジニアリングが協力。来年1月に同協会による審査会を開く方針だ。

同日はデザインの参考にしってもらうため、学生を招いた。学生は同研究所などを回り、最先端のエネルギー研究が行われていることを学んだ。

八戸市出身で2年の田沢陽菜さん(19)は「パンフレットだけでは分からないことが多かった。村のことをもっと知ってほしいという気持ちを込めて記念品を作りたい」と意気込んでいた。

六ヶ所核融合研究所を見学する八戸工業大の学生

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。